

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【公表番号】特表 2019-502766 (P2019-502766A)

【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2017-566799 (P2017-566799)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/16 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 8 F 297/00 (2006.01)

C 0 9 D 127/12 (2006.01)

C 0 9 D 133/06 (2006.01)

C 0 9 D 127/16 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/61 (2018.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/16

C 0 8 L 53/00

C 0 8 F 297/00

C 0 9 D 127/12

C 0 9 D 133/06

C 0 9 D 127/16

C 0 9 D 133/00

C 0 9 D 7/61

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 11 日 (2020.11.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 0 】

反応例 1 ~ 8 のための一般的調製方法

フッ化ビニリデンモノマー単位 / ヘキサフルオロプロピレンモノマー単位の組成が 7 5 重量 % / 2 5 重量 % であるフッ化ビニリデンポリマーの水性ラテックスを、必要な量の脱イオン水を添加することにより、所望の固形分重量 % に調節した。その調節したラテックスを、機械式攪拌機ならびに反応剤および不活性ガスを導入するための入口を備えたジャケット付き反応容器に加えた。アルゴンを流し始め、攪拌を開始した。混合物の中へ、第一のビニルポリマーのために必要とされる第一のモノマー混合物をイソオクチル - 3 - メルカプトプロピオネートと共に添加することを開始し、それと同時に、トリプロピレングリコールメチルエーテルの中に溶解させたアゾビス ( 2 - メチルブチロニトリル ) の混合物の添加も開始した。第一のモノマー混合物の添加は、5 0 ~ 6 0 分の時間で終了した。第一のモノマー混合物および連鎖移動剤、ならびにトリプロピレングリコールメチルエーテル中のアゾビス ( 2 - メチルブチロニトリル ) の添加が完了したとき、周囲温度での攪拌を 3 0 分間続けた。次いでその混合物を加熱して 7 5 とし、3 0 分間保持した。第二のビニルポリマーのために必要とされる第二のモノマー混合物をイソオクチル - 3 - メルカプトプロピオネートと共に、混合物の中へ添加することを開始し、6 0 分の時間をかけ

て完了させた。さらに30分してから、さらに水で希釈した70重量%のt-ブチルヒドロペルオキシド水溶液の添加を開始した。ヒドロペルオキシドの添加が完了したら、水の中に溶解させた還元剤のナトリウムホルムアルデヒドスルホキシレートまたはメタ重亜硫酸ナトリウムの添加を開始した。還元剤添加の後、その反応条件を20分間保持してから、冷却を開始した。そのラテックスを、場合によっては、10重量%の水酸化アンモニウム溶液を用いてpH7.5~8.8にまで中和し、また場合によっては、反応器にフィードした全物質を規準にして800ppmのレベルで殺生物剤を添加した。